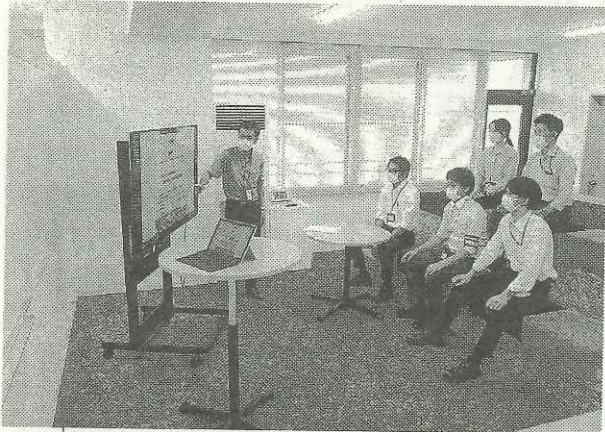


本社オフィスを刷新



FTS

自動車の燃料タンクを製造するFTS（本社豊田市鴻ノ巣町2の26、落合宏行社長、電話0565・29・2211）は、本社オフィスを刷新し、社員が活発な議論をしやすい職場環境づくりを進めている。大勢で話し合える空間「スタジアム」やカフェ風のスペースを設置した。自動車業界が大きな転換期を迎える中で、将来の成長につながるような社員の柔軟な発想を引き出す。

（勝又佑記）

活発な議論しやすい職場に

2019年4月から本社の本館と技術部門が入る建屋の改装を順次進め、この

ほど完了した。

本館に設置したスタジアムは、階段状に座席を配置し、明るい雰囲気です話合える空間にした。ホワイトボードや大型モニターも置き、円滑に情報共有しやすくしている。

またカフェ風のスペースには、木目調の机や椅子を置き、社員にリラックスしながらコミュニケーションを深めてもらう。一方でオンラインの打ち合わせや気分を変えて一人で集中的に仕事に取り組める場所とし

ても活用している。

同社は08年に堀江金属工業とエフティエスが統合して発足した。14年には「FTSポリシー」を策定し、「社員の幸福」を求める考えを掲げて旧2社の社員の融合、社内の活性化に努めてきた。

大勢の社員で話し合えるスタジアム

働く環境整備に加え、社員の健康増進や女性の活躍などを後押しする取り組みを進めている。経済産業省の「健康経営優良法人」や愛知県の「あいち女性の活躍プロモーションリーダー」などの認定を受けている。